

第3回 PBLグランプリの実施について

社会連携オフィス

趣旨……本学のブランディング ～「地域」と「教育・研究」「学生」をつなぐ～

1. キャンパス内で理論、キャンパス外(地域社会)で実践、という学びを深める循環型学習環境の整備
2. 社会との繋がり、経験を重ねることでの学生自身の社会人基礎力(主体性、課題解決力、協働力)の養成
3. 地域の発展や振興を標榜する大学として地域活性化の中核的存在となるような教育・研究活動の推進
4. SDGsを実践するための学びの推進

内容……PBLの学内コンペ

正課内、正課外を問わず、自治体、企業、事業者等と連携し、大学も地域も元気になるような優れた本学が行うPBL型学習活動の取組を表彰する。

- ・キャンパス外(地域社会)でのテーマを決定し、現場で学び、考え、議論し行動することで地域の発展や貢献につながる学習(探究)活動を展開する。
- ・PBLの学習活動分野は「医療福祉」・「食育」・「スポーツ」・「健康」・「まちづくり」・「子育て」・「SDGs」等とする。
- ・活動には本学の教員と学生が必ず関わり、半期から1年等、一定の活動期間を定めたものとする。

スケジュール(流れ)……エントリーから審査まで



※1エントリーシート: PBLのタイトルと目的、内容(チーム名、メンバー、協働先、期間・目的等)
メンバー構成単位(授業・ゼミ・クラブ活動・その他等)

※2自己評価シート: PBLの経過、または、中間成果概要

※3プレゼンテーション: パワーポイントを使用。活動途中の場合は中間成果の発表も可

※1及び※2→学生と協議のうえ、教員が提出。

審査手順・表彰

中間報告会

応募シートに基づきポスターセッションを実施し、一般参加者及び審査員のコメントを頂き、事業内容の修正や本選会の発表内容に活かす

審査員

民間・行政団体等の地域創生に関する有識者、学内教職員

本選会

学内において公開プレゼンテーションを実施し、審査を経て「PBLグランプリ」を決定

表彰(賞状と副賞)

グランプリ(1件)	10万円
準グランプリ(1件)	5万円
特別賞(1件)	3万円

昨年からの変更点

- ・副賞の金額変更及びノミネート賞の廃止⇒エントリー団体には、PBL活動推進費(2万円)を支援
- ・第一次審査廃止し、中間報告会に変更(一般参加者や審査員にコメントをもらう機会とする。)大学祭と同時開催

その他

- ・本事業に係る活動は、本学広報誌やホームページ等を通して広くかつ積極的に地域社会に取組を紹介する。